

金融取引、リスク管理の革新をサポートするISiD



ISiD
IT Solution Innovator

株式会社 電通国際情報サービス
金融ソリューション事業部 金融事業戦略部長 飯田哲夫氏
同プロジェクトディレクター 遠藤眞司氏・同アソシエイト 小松千香氏
(聞き手 MSOG編集部 富田、鈴木)

MSOG

市場系ソリューションへの
貴社の取り組みは

飯田 金融機関が収益拡大を期待するトレーディング分野で、東証アローヘッド以降、高頻度取引 (High Frequency Trading、以下、HFT) の浸透や取引所統合の計画など大きな動きがあり、アルゴ、スマートオーダールーティングをはじめ金融機関が攻めに出られるソリューションを整えている。一方、リーマンショック後に顕在化したグローバルかつ急速な市場変動に対処するために必要とされるのは、リアルタイムに情報を取り出せるリスク管理である。従来の取引管理やリスク管理に加え、ISiDとして新しいタイプの取引やリスク管理に対応したソリューションを提供し、日本の金融機関の発展に貢献したいと考えている。



MSOG

新しいタイプの
リスク管理とは?

飯田 市場リスクに関しては、グローバルかつリアルタイムにリスク情報が収集できる仕組み作りが求められている。また、市場の急速な変動に備えるために、流動性リスク管理の強化、CVAなどの市場、信用を組み合わせたリスク管理にも対応する。その実現には、一日に複数回リスク度合をチェックできる仕組みが必要で、大量のデータをリアルタイムで処理できるソリューションを提供したい。

MSOG

他社にない
貴社ならではの強みは

飯田 海外でHFTやリスク管理の領域で実績がある製品を、ISiDの経験とノウハウで、日本で利用し易いように導入していく。現在、ISiDでは、First Derivatives社及びQuartet社の製品を日本で展開している。証券会社出身のこの分野に精通したスタッフも迎え、新設部署にて、新しい領域に専断で対応している。

遠藤 また、アルゴリズム取引はここ4、5年で劇的に変化し、広義のアルゴを利用していない金融機関は少なくなってきた。アルゴ取引が普及し、多様化する中で、最良執行の状況を知り、ベンチマークとの比較や効果を検証したいというニーズが強くなってきている。その要望に応えるために、高機能の分析システムも展開している。

MSOG

GMS2011での
講演・展示の狙いは

飯田 日本の金融機関もグローバル市場全体を見て、収益を上げるという考え方が強まってきた。顧客がグローバルビジネスを強化する中で、テクノロジーを提供する企業も努力が求められる。グローバル戦略を遂行するのに適したソリューションをお見せする機会としたい。

遠藤 それに、現状のままだと海外金融機関や海外市場に劣後してしまう懸念がある。我々は先進的な海外のプロダクトを日本に導入し、市場を活性化するお手伝いを行いたい。ITベンダーもグローバルな視点に立ち、良い海外のプロダクトを日本市場へ紹介することは、大政奉還前に坂本龍馬率いる亀山社中が日本へ武器を輸入したことに似ているかもしれない。ISiDでは、プロダクトの導入をお手伝いすると共にビジネスや業務上の課題を解決し、日本の競争優位を創出するパートナーとなることを目指している。



飯田 また、決済関係では、今後、国債決済期間の短縮化や新日銀ネット、保振のISO20022導入など、毎年重要なイベントが続く。ISiDは多くの金融機関に決済関連のソリューションを提供しており、今後の決済改革にもしっかり対応していく。取引の進化に伴い、決済の低リスク、低コスト化の実現は市場競争力の根幹を成すと考えている。昨年11月より今年5月まで、金融機関をメンバーとして決済制度改革に関する業務検討会を実施した。そこで出された論点や提言の一部も、GMSで紹介したい。

MSOG

現在の環境で金融機関が
取り組むべき課題と
貴社が果たす役割は

飯田 近年、金融機関のグローバル展開、特にアジア重視の傾向が顕著で、それに向けたリソースの投入が始まっている。アジアの成長を享受するためには、システム面の装備も強化する必要がある。ISiDは、海外人員を増強し、顧客のグローバル展開を支援していく。一方、日本市場離れの傾向もあるが、金融庁からも、金融資本市場活性化のためのアクションプランが発表されており、日本市場の成長もしっかり支援していきたい。

飯田、遠藤、小松)

取引、リスク管理ともIT力で勝負が決まるとも言える。

ITソリューションを提供する企業として、お客様の戦略に貢献していきたい。むしろ我々のソリューション次第で、企業の戦略が変わるくらいの気構えで取り組んでいる。(インタビュー日 2011年6月10日)